

神奈川県スポーツ推進計画及び 本県の主なスポーツ施策について

1 神奈川県スポーツ推進計画の概要

(1) 計画策定の趣旨

県全体で確実にスポーツの推進を図り、誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる地域社会を実現していくため、2017(平成29)年3月に神奈川県スポーツ推進計画「エンジョイ・スポーツ! かながわプラン」を策定。

(2) 計画策定からの経過

2017 (平成29) 年3月 策定 2023 (令和5) 年3月 見直し

(3) 計画の目標年度

2025 (令和7) 年度

(4) 計画の位置付け

- ・神奈川県スポーツ推進条例第5条に定める「推進計画」
- ・県の総合計画「新かながわグランドデザイン」を補完する個別計画
- ・スポーツ基本法第10条に定める「地方スポーツ推進計画」

1 神奈川県スポーツ推進計画の概要

(5) 基本目標

- ① 誰もが、「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツに親しめる 生涯スポーツ社会の実現
- ② スポーツの持つ力による、前向きで活力ある社会と、共生社会の実現

(6) 数值目標(令和7年度)

項目		目標値
成人のスポーツ実施率 (満20歳以上)	週1回以上 週3回以上 非実施率	70%以上 35%以上 0%に近づける
子どものスポーツ実施率 (6歳から18歳まで)	週3回以上 非実施率	55%以上 7%以下
障がい者のスポーツ実施率 (満20歳以上)	週1回以上	40%以上

1 神奈川県スポーツ推進計画の概要

(7) スポーツ推進の施策・事業体系

視点1 視点2 誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進 スポーツ活動を拡げる環境づくりの推進 施策 主な取組 施策 主な取組 スポーツ環境の基盤となる「人材」の育 ①楽しみながら行う 家庭での遊び・運動の推進 スポーツへのきっかけづくり 地域での遊び・運動の推進 (主に乳幼児期) スポーツ環境の基盤となる「場」の充実 地域コミュニティの中心となる総合型地 体育・健康教育の充実 ⑤スポーツ活動の環境整備 域スポーツクラブの質的充実 ②スポーツに親しむ意欲や 学校におけるスポーツ活動の推進 スポーツ医・科学の活用促進 態度の育成 運動部活動の地域移行 (主に児童・青年期) クリーンでフェアなスポーツの推進 地域におけるスポーツ活動の推進 競技力の向上 ⑥アスリートの育成 スポーツに親しむ機会の充実 ③スポーツを行う習慣の確立 トップアスリートの育成 (主に成人期) 3033 (サンマルサンサン) 運動の推進 視点3 スポーツの持つ力による地域活性化、共生社会の実現 ④スポーツを通じた健康・ レクリエーションスポーツの推進 生きがいづくり 施策 主な取組 体の状態や体力に応じた運動の推進 (主に円熟期) スポーツを通じて地域を盛り上げる取組 ⑦スポーツの持つ力による 多様な主体との連携による地域活性化 地域活性化 東京2020大会等のレガシーを活用した 取組み 「かながわパラスポーツ」の推進 ⑧スポーツを通じた 障がい者スポーツの推進 共生社会の実現 女性のスポーツ推進

視点 1 誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進

(1) スポーツに親しむ意欲や態度の育成、スポーツを行う習慣の確立

主な事業内容

- ア 公立中学校における休日の運動部活動の地域移行 中学生がスポーツに継続して親しむ機会を確保するため、関係団 体等との連携体制を整えるとともに、「地域クラブ活動指導者研修 講座」や「かながわ地域クラブ活動指導者データベース」を実施。
- イ 県民スポーツ月間の設定 神奈川県スポーツ推進条例により、10月を「県民 スポーツ月間」と定め、市町村やスポーツチーム等 と連携し、県内で開催される「スポーツ体験会」や 「スポーツイベント」を一体的に広報。



県民スポーツ月間

ウ 3033 (サンマルサンサン) 運動の推進 1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、 くらしの一部として習慣化する取組である「3033運動」を推進す るため、「3033体力測定会」や「3033運動講習会」を実施。



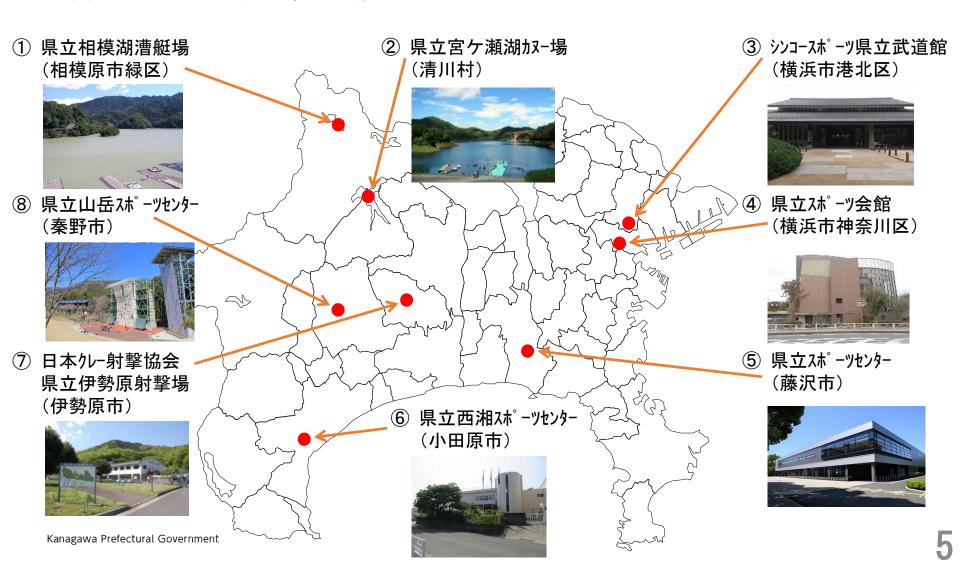
地域クラブ活動指導者 研修講座



3033体力測定会

視点 2 スポーツ活動を拡げる環境づくりの推進

(1) スポーツ活動の環境整備



視点2 スポーツ活動を拡げる環境づくりの推進

(2) アスリートの育成

主な事業内容

ア 競技力の向上 本県のアスリートの活躍を支援するため、 「国民スポーツ大会」へのコーチ、トレーナ

一、スタッフ等の派遣や、「全国障害者スポ

一ツ大会」への選手の派遣等を実施。



第78回国民スポーツ大会 「SAGA2024」 (神奈川県選手団)



第23回全国障害者スポーツ大会 「SAGA2024」 (神奈川県選手団結団式)

イ トップアスリートの育成

「かながわジュニアチャレンジプロジェクト」として、県内の小学生を対象に、競技スポーツの裾野拡大や将来の神奈川育ちのアスリートの早期発掘・育成を図るため、「スポーツ能力測定会」や「スポーツ競技体験会」、「タレント育成能力開発プログラム」等を実施。



かながわジュニアチャレンジプロ ジェクト(スポーツ能力測定会)

視点3 スポーツの持つ力による地域活性化、共生社会の実現

(1) スポーツの持つ力による地域活性化

主な事業内容

- ア スポーツツーリズムの推進 本県の豊かな自然環境を活かし、広域的な周遊を促進するサイクルツーリズムの取組を推進するため、県内14本の「サイクリングルート」を作成し、関係機関と連携した情報発信を展開。また、アウトドア・アーバンスポーツを推進するため、市町村や企業等が無料で活用できる8種目のPR動画を作成中。
- イ 多様な主体との連携による地域活性化 スポーツを通じて地域活性化など社会課題を 解決するため、自治体や企業等が情報共有や連 携する場として「かながわスポーツ・プラット フォーム」を設置。



かながわスポーツ・プラットフォーム

ウ 東京2020大会のレガシーを継承するための取組 セーリングの魅力を継続して普及啓発するため、県内4会場で 県内在住の小学生及び障がいのある方(小学生以上18歳以下)を 対象とした「セーリング海上体験会」を実施。



ジャパンエコトラック ルートマップ「神奈川」



神奈川県スポーツツーリズム P R 動画 「スポーツクライミング」





セーリング海上体験会

視点3 スポーツの持つ力による地域活性化、共生社会の実現

(2) スポーツを通じた共生社会の実現

主な事業内容

ア 「かながわパラスポーツ」の推進誰もが生涯にわたり楽しみながらスポーツをする、観る、支える、「かながわパラスポーツ」※を推進するため、「パラスポーツ体験会」や「かながわパラスポーツフェスタ」を開催。

※「かながわパラスポーツ」: 県では、パラスポーツを「障がいがある人がするスポーツ」という考え方から一歩進め、「誰もがそれぞれの関心、目的、体力、年齢、運動機能及び健康状態に応じて、生涯にわたり楽しみながらスポーツをする、観る、支えること」を「かながわパラスポーツ」と定義。



かながわパラスポーツフェスタ (車いすテニス)

イ 障がい者スポーツの推進 県立スポーツセンターや特別支援学校等を 活用し、障がい者がスポーツを継続的に実施 する場として、「パラスポーツ教室」を実施。



パラスポーツ教室 (ボッチャ)

ウ 東京2025デフリンピックに向けた取組 東京2025デフリンピックを契機とした、聴覚障がい者への理解 やパラスポーツの推進を図るため、「1年前イベント」や、プロ スポーツチームと連携したPRを実施。





東京2025デフリンピック 1年前イベントinかながわ